

はしかわ市長の **だいすき!くさつ**



本格的な
秋の到来

朝晩が涼しい気候となり、過ごしやすく、活動しやすい季節となりました。

”食欲の秋”です。市では、市民の皆様の健康をサポートするため、バランスのよい食事、特に野菜を多く取れるよう、昨年に引き続き「草津ベジラッチ」の取組を行います。

”スポーツの秋”です。今年は「くさつ運動チャレンジ」として、市内のスポーツ施設と連携した取組を展開します（詳しくは6・7ページをご覧ください）。皆さんも、日頃の生活習慣を見直していただき、健康寿命を延ばすためにも、ぜひこの機会に運動を始めてみてはいかがでしょうか。

”芸術の秋”です。市美術展覧会や市青少年美術展覧会を、今年からキラリエ草津に会場を移し、多くの方に来場いただきました。創意工夫に富んだ作品を鑑賞しますと、心が安らぎます。市美術展覧会の市展賞受賞作品などを10ページに掲載していますので、ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症については、9月30日に、滋賀県を含む全国19都道府県の緊急事態宣言が解除され、1カ月となります。飲食

店などの営業時間短縮や酒類の提供停止の要請が解除され、公共施設の再開、感染対策を講じながらのイベント開催など、少しずつではありますが、日常が戻ってきています。

しかし、気を緩めると再び感染が拡大する恐れがあります。手洗いや手指の消毒、マスクの着用の徹底、密閉・密集・密接の回避など、基本的な感染対策の徹底を、家庭や職場で継続してください。また、感染リスクが高まる5つの場面として、飲食を伴う懇親会、大人数や長時間の飲食、マスク無しでの会話などには、さらなる注意が必要です。会食される場合は、なるべく普段一緒にいる人と、「みんなで作る滋賀県安心・安全店舗認証制度」の認証を受けた店舗を利用するなど、感染リスクを下げる工夫をしてください。

新型コロナウイルス感染症とはまだまだ共存していかなければなりません。市におきましては、現在の動向に注意しながら、3回目のワクチン接種に向けて、準備を進めているところです。皆様には、大切な人を守るために、引き続き、感染防止対策を継続しながら、お過ごしいただきますようお願いいたします。

9月定例市議会



9月2日に開会し、市長が提出した26議案を原案どおり可決等しました。また、議員が提出した条例案1件を可決、意見書案1件を可決、請願1件を不採択とし、10月1日に閉会しました。主な議案は次のとおりです。

《市長が提出したもの》

決算認定 = 令和2年度草津市一般会計歳入歳出決算など

補正予算 = 令和3年度草津市一般会計予算を7億8,479万1千円増額し、543億4,032万6千円にする補正予算など

条例案件 = 草津市個人情報保護条例の一部を改正する条例案など

一般議案 = 市道路線の認定につき議決を求めることについてなど

人事案件 = 草津市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてなど

《議員が提出したもの》

条例案件 = 草津市議会委員会条例の一部を改正する条例案

意見書 = コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書案

問 総務課(3階) ☎561-2301、FAX561-2483
議事庶務課(3階) ☎561-2413、FAX561-2485

新型コロナウイルスワクチン接種

問 新型コロナウイルスワクチン対策室(2階) ☎561-0184、FAX561-2482(平日8:30~17:15)



予約
サイトは
こちら

1 集団接種の終了と地域の医療機関での接種について

フェリエ南草津(野路一)で実施している新型コロナウイルスワクチン接種の集団接種は、1回目接種が11月5日(金)、2回目接種が11月26日(金)で終了します。

今後、接種を希望する人や、新たに12歳になる人を対象として、11月6日(土)から地域医療機関での個別接種を実施します。平日18:00以降や土曜日に実施する医

療機関もあります。2回目未接種の人を含め、接種を希望する人は早めに予約してください。実施医療機関や予約方法などについて、各まちづくりセンターに設置している実施医療機関一覧か、市ホームページをご覧ください。

2 ワクチン接種実績(10月18日時点)

	2回接種者数	接種率	接種対象者数
65歳以上	28,381人	88.9%	31,933人
60~64歳	5,433人	87.8%	6,187人
50~59歳	14,531人	85.7%	16,949人
40~49歳	15,855人	73.2%	21,672人
30~39歳	8,839人	53.4%	16,566人
20~29歳	7,901人	50.7%	15,571人
12~19歳	3,434人	31.8%	10,806人
合計	84,374人	70.5%	119,684人

3 ワクチン接種後も
感染対策の継続を

ワクチン接種後も基本的な感染対策の徹底をお願いします。

- 手洗い、マスクの着用、密の回避などを徹底してください。
- 感染リスクが高まる場面(飲酒を伴う懇親会、大人数や長時間の飲食、マスク無しでの会話など)に注意してください。

広がれ! はっぴー・ぼうさい 第8回

問 危機管理課(1階)
☎561-2325、FAX561-6852

草津の防災力、どんどん高めていきましょう

関西大学 社会安全学部 近藤ゼミ

えふえむ草津でお届けしている防災番組「Happy BOUSAI」。平成29年8月5日に放送したシリーズ第5回のテーマは「災害漫画」でした。皆さん、災害をモチーフにした漫画がたくさん出版されていることを知っていますか? 阪神・淡路大震災が起きた平成7年ごろや、平成23年3月11日の東日本大震災の後、数多くの作品が発表されています。迫真の画力や丁寧な表現力によって、テレビ番組やドキュメンタリー映画などからは想像できない被災地の現実を詳しく知ることができます。

ラジオを通してお伝えした二つの作品をここでも短く紹介しておきましょう。一つは、村岡ユウさんが描いた『葬送—2011.3.11. 母校が遺体安置所になった日』というタイトルの災害漫画です。津波で大きな被害を受けた岩手県釜石市を舞台に、若い女性で歯科助手の主人公が、被災直後に「遺体安置所」となった中学校で、検死の作

業を手伝った体験が詳しく描かれています。つらすぎる過酷な現実を漫画にすることで、ワンクッション置いて読者に届けてくれます。

もう一つは、ももち麗子さんの『デ이지ー 3.11 女子高生たちの選択』という作品。福島県に住んでいる女子高生の親友4人が、それぞれ放射能による汚染被害の現実悩み、家庭の事情などに翻弄され、もがきながらもたくましく生きる、友情と成長の物語です。この作品は、作者が福島県で取材した経験をもとに描かれていて、素晴らしい心理描写が心を打ちます。

今回紹介した災害漫画の共通点は、「被災の現実を可視化している」こと。防災を学ぶきっかけとして、ぜひ読んでみてください。

Happy BOUSAI ラジオえふえむ草津(FM78.5MHz) 第1・3火曜日12:00~